

京都市子ども安全ネットワークニュース

Vol. 24 平成22年2月発行：京都市子ども安全会議事務局

教育委員会体育健康教育部 TEL213-5472 <http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-4-0-0-2.html>

～見守り隊ここにあり！ 各地域で強力タッグ～

＜交流する見守り隊の皆さん＞



地域の実情に応じた取組を一層推進するため、また、これからの見守り活動の在り方を考える機会として、警察や区役所にもご協力をいただき、各地域で学校安全ボランティア講習会が開催され、見守り隊の皆さんによる活発な意見交換が行われました。

講習会では、具体的な地名を挙げての活動報告や情報交換など、近隣地域ならではの話し合いとなり、親交を深めておられました。

また、危機意識の希薄化への危惧や実働人員の確保、メンバーの固定化、下校時の対策など、全市に共通する課題についても、それぞれの校区での工夫・取組が報告され、真剣な論議となりました。

2月17日（水）には全市を対象とした「京都市学校安全ボランティア講習会」を開催し（裏面参照）、各地域でのご意見や実践事例の一部をご紹介します。

共に考えてみませんか、子どもたちのために。

子どもを共に育む 京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう！

【お知らせ】

平成 21 年度 京都市学校安全ボランティア講習会

*日時：平成 22 年 2 月 17 日（水） 10:30～12:00

*会場：京都市総合教育センター 4階「永松記念ホール」

※ 駐車スペースがないため、公共交通機関をご利用願います。

*内容

- ☆ 講演第 1 部 「安全管理と危機管理」
講師 京都府警察本部犯罪抑止対策室 室長補佐
野村 幸雄 氏

- ☆ 講演第 2 部 「見守り活動からまちづくりへ」
講師 同志社大学大学院教授
谷口 知弘 氏

各校区の事例紹介 地域ぐるみの子ども安全活動の取組

花園小学校区(右京区)

本校区では、「花園子ども見守り隊」が平成 16 年度に発足し、地域ぐるみの学校づくりをめざして取り組んでいます。

平成 19 年 1 月には学校運営協議会が立ち上がり、健康安全委員会の取組の一つとして再スタートを切りました。現在は「花園子ども見守り隊」の方 36 名と PTA、教職員が協力して子どもたちの安全を見守っています。

毎朝、集団登校する子どもたち一人一人に声をかけ、遅れて来る子どもがいると心配して待っていてくださることもあります。毎月 1 日と 15 日を登校指導日と位置づけ、多くの教職員や交通安全推進協議会の方も加わり、子どもたちの様子を学校に知らせていただいたりしています。

平成 20 年度から「わんわんパトロール」の取組を始めました。子どもたちの登下校時に犬の散歩をしていただく取組です。まず 4 月の狂犬病注射の折に、飼い主の方に「わんわんパトロールの名札」と「犬用の名札」を配布しました。また、学校正門前に以前から立っていた「飛び出し防止」の看板を子どもたちの目につきやすいようにカラフルな看板に作りなおし、注意を呼びかけました。今年度は夏休み前後に、健康安全委員会の取組として、地域や PTA の方、教職員が丸太町通の北と南に分かれ、自転車での校区内パトロールを 2 回行いました。

今後も学校を含めた地域全体での見守り活動を通して、花園を安全安心な街にしていきます。

